

# 山のトイレ協議会通信

第10号



## 目 次

募集古処山清掃登山	2
募集英彦山登山	3
総会・講演会案内	4
英彦山トイレ状況報告	5
啓蒙活動報告	6
他地域の山トイレ事情	7~8
会費納入のお願い	9

山のトイレ、環境を考える福岡協議会

# 参加者募集

## <PART I > ~ 古処山清掃登山 ~

古処山は福岡市から1時間程で登山口まで行け、日帰りできる手頃な山です。山頂一帯には特別天然記念物ツゲの群落がみられ、県内人気の福智山、英彦山、宝満山ほどではないにしても、年間1万人以上の人々が登山をしていると言われています。

数年前まで、秋月側登山口にあったキャンプ場が閉鎖され、ここにあった唯一のトイレも同時に無くなったことにより、同山域の環境汚染が危惧されるどころです。登山者自身による山中へのし尿放出は単に山岳自然の汚染にだけにとどまらず、山麓の集落へこの影響が広がるとすれば、より深刻な問題にもなります。当会としても、登山マナーの一環として

「山に入る前に麓のトイレで用を足しましょう」を提唱し、啓蒙活動を行っています。このようなことから古処山の環境現状を知るために、視察を兼ねた清掃登山を行うことにしました。

出来るだけ多くの方にご参加を頂き、その目で見えた感想、意見を聞くことで、今後の会活動の指針にしたいと考えています。

山の清掃後は下山口においてぜんざい会を行います。

緑が美しいこの季節一緒に歩きませんか？

**多くの方の参加を期待しています！！**

### 実施要領

実施日:5月19日

清掃・視察山域 : 古処山(朝倉市)  
集合時間・場所 : 8時00分 天神日銀横

参加交通費: 1,500円

持参するもの: 日帰り登山装備一式 火ばさみ レジ袋数枚 軍手

帰着予定時間: 天神 17時頃

申込先: 太田勝 ☎・FAX 092-593-0348 携帯 090-9607-7556

**一緒に活動しましょう!**

ごみは  
持ち帰  
のよ!



## 参加者募集

### <PART II> ～山開き 英彦山登山～

英彦山は福岡県と大分県県境にある山で、かつて日本三大修験場として栄えた霊山である。

平安時代までは「日子山」と呼ばれ、その後「彦山」となり現在は「英彦山」となっている。

英彦山は中岳、北岳、南岳の三つの山頂を持ち、最高峰は1200mの南岳である。中岳からは九重連峰や由布岳方面の展望が素晴らしい。

今の季節は中岳から北岳にかけてはブ

ナの新緑が高く美しく輝いている。

6月には純白な花オオヤマレンゲも見られる。

このような美しい景観を持つ英彦山を守るために“山のトイレマナー袋”配布のキャンペーンを山開きに合わせて行います。

山頂で行われる神事に参加する予定です。

皆様のご協力をお待ちしています。

#### 実施要領

実施日: 5月26日(日)

山 域 : 英彦山

集合時間・場所 : AM7時30分 天神日銀横

参加交通費: 2,500円

申込締め切り日: 5月20日(土)

持参するもの: 日帰り登山装備

帰着予定時間: 天神 18時頃

申込先: 太田勝 ☎・FAX 092-593-0348 携帯 090-9607-7556

お待ちしております  
まあ～す!

今年も(株)ムッシュ様より山のマナー袋を2000個寄贈いただきました。  
頑張って有効活用していきましょう!

## 第5回定期総会のお知らせ

当協議会も早いもので発足5年目を迎えます。試行錯誤しながらの歩みですが、皆様のご協力のお陰で、現在に至っています。

宝満山キャンプセンターのバイオトイレ、竈門神社駐車場の水洗トイレ使用のお陰で気持ちよく登山ができるようになりました。

英彦山も山中トイレ設置が確定的になり、完成が待たれるところです。

登山マナー袋の配布活動も皆様のお陰で5,000枚以上手渡しできました。

終わりの見えない取り組みですが、皆様と共に頑張っていきたいと思っています。

今年の講演は英彦山の自然保護活動に永年携わってこられた方のお話です。地元福岡の人々が慣れ親しんでいる英彦山について、興味ある話がたくさん聞けることでしょう。

ご多忙とは思いますが、是非の参加をお待ちしています。

尚、友人、知人もお誘いあわせの上お出かけ下さい。

### 第5回定期総会 開催日時

日 時 平成25年6月23日(日) (13:30~16:30)

13:30~ 総会 (受付 13:00~)

14:50~ 記念講演 講演者：熊谷信孝氏

16:30 終了

場 所 大宰府館3階 まほろばホール ☎092-918-8700

☆駐車場はありません。

### ☆総会終了後、どなたでも参加OKの懇親会を開きます

時間：17時~19時 会場：浜太郎二日市店 会費：3500円

往路のみバス送迎あり (西鉄太宰府駅前 16時40分 浜太郎マクハス乗車)

### <熊谷信孝氏のプロフィール>

福岡県田川郡赤池町に生まれる 岡山大学理学部生物学科卒業

県立高校教諭の後、植物地理分類学会会員

福岡県生物多様性戦略専門委員長

福岡県環境教育アドバイザー

著書「英彦山・犬ヶ岳さん知の自然と植物」



## 英彦山上部にトイレ建設を求める動き(part III)

英彦山トイレ建設に向けた活動で「英彦山のトイレを考える会」の関心事のひとつにトイレ建設場所は「中岳山頂広場付近』とする意味が意中にあった。

しかし意見交換会でこれは禁句となっていた。中岳山頂付近と明言することで、英彦山神宮、霊山会などの反感を呼び、活動の前途に困難をきたすことを恐れていたことであった。

期は熟したとみた添田町はトイレ建設場所を明記した要望書を英彦山神宮宛へ英彦山のトイレを考える会より提出して欲しい旨の要請があった。添田町が自ら行うべき要望書提出作業を当会(※)へ振ってきたのである。

この最終ともいえる段階で始めて「中岳山頂北側広場付近」とトイレ建設場所を明記することができたわけで、“英彦山上部”の中味を秘めた当初からの活動であったことから、ようやく吐き出すことができたという思いであった。

11月6日当会役員5名で神宮を訪問、要望書を提出。11月23日付けで神宮より当会宛へ「中岳山頂北側広場の休憩所より少し離れた場所へ現地立ち会いの上決定したい」旨の回答を得ることができた。

これによりトイレ建設に向け難題と考えられた主な事業は一定の解決に至っ

たものといえる。

しかし、トイレ完成までは福岡県、添田町、神宮、当会等で多少解決すべき事案もある。それはバイオトイレメーカー、トイレ建屋の規模の決定、さらにトイレ管理の具体的体制と強化(これは他団体等より提言も含めた意見もよせられている)は、今後英彦山のトイレ管理も含め、環境全般、また観光地としての諸問題の発生も視野にいれ、「英彦山の環境、トイレを考える連絡協議会」に期待されることも多くなることも予想され、行動できる連絡協議会として、さらなる地元団体の結集、組織強化が望まれる。

<追記>

添田町は本年1月、英彦山の世界遺産登録を目指して、本格的に取り組む考えを明らかにした。同時にトイレ建設に向けた活動も徐々に進んでいた。

ところが世界遺産登録とトイレ建設の関係から問題点が生じたらしく、文化庁よりトイレ建設に対し、待ったの指摘があったが、4月30日文化庁職員、英彦山神宮、添田町三者による現地視察が行われ、この結果「現在山頂広場にある福岡県所有休憩所の約半分をトイレに改築するという条件で合意した」と添田町より連絡があった。

※当会は「英彦山のトイレを考える会」

(報告 太田)



# 啓蒙活動報告

実施日:4月7日(日)

実施場所: 英彦山登山道

目的: 清掃登山

主催: 日本山岳会北九州支部

協賛: 山のトイレ協議会(略称)

参加者: 日本山岳会会員 38名

山のトイレ協議会 2名

田川かたつむり山の会 2名

筑豊山の会 7名

英彦山ボランティア 1名

回収ゴミ量: ゴミ袋 24袋

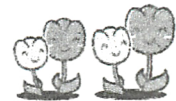
参加された皆様へ  
寒い中お疲れさまでした

## ～積雪の中のゴミ拾い!～

清掃コースは正面登山道、高住神社北岳、鬼杉南岳の3コース。強い冬型の気圧配置の影響で6合目付近より雪となり、積雪のため、ゴミも見えなくなる。山頂広場東側斜面を雪をかき分けてのゴミ拾い。展望台の下にはビン類、缶類 100個、パックやペットボトル等のゴミが山ほどあった。

登山マナー袋、山の日制定パソレットの配布は登山者が少なく、次回行事の中で再度行うことになった。

西日本新聞社の取材を受け、翌朝の新聞に掲載された。



参加者は3コースに分かれて登山。強い寒気が

感じて、

強い寒気が

感じて、

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを

約50人が空き缶やごみを



福岡県添田町 年ぶりという。

の英彦山(12

00)で7日、

山を続けている支部長の

日本山岳会北九

伊藤久次郎さん(73)は

「桜の花びらと思ったら、

違ったので驚いた。この

時季に珍しい雪が見られ

て、みんなの疲れも吹っ

飛ばしました」と山男らし

## 他地域のトイレ状況は？

掲題の興味から、過去講演をしていただいた地域にアンケート協力をしていただきました。編集者の独断によるアンケートですが、報告致します。

### ①携帯トイレはどのくらい普及しているか？また問題点は？

北海道(道内において):常に持っていく 14% 場合によっては持っていく 42%

- ・利尻山は殆どの人が持参。知床の羅臼岳は3~4割。
- ・大雪国立公園は登山口が多いので、携帯トイレ利用促進施策の実施が  
しい。
- ・回収ボックスにゴミが不法投棄される
- ・回収ボックスが不足 ・携帯トイレの投げ捨てがある

東北(早池峰山):殆どの人が持参、登山者の80%位は携帯トイレ使用に賛同

大分:0%

普及しても、使用後のものの散乱もあるので、そこまで考えた普及が必要九州全体で申し合わせしないと。

屋久島:淀川登山口では58%が持参、不携帯者は登山口で購入させ、77%の持参率。

使用済みのものの放棄は登山道においては見られない。

### ②道、県内におけるメジャーな山域で山中にトイレはあるか？あるとしたらどのような形態か？

北海道:・トムラウシ山、利尻山、羅臼岳、ニッパツ山、は携帯トイレ、回収ボックスを設置。美瑛富士避難小屋は未だに本格的な対策は未実施。

- ・旭岳ロープウェイ駅は浄化槽方式。幌尻山荘はバイオトイレと貯留式仮設トイレの組み合わせ。大雪国立公園の避難小屋で黒岳はバイオトイレ、それ以外は浸透式ポットトイレ。

東北:岩手山には土壌分解方式のトイレ3箇所あり。焼石岳にも1箇所あり。

大分:くじゅう山系の避難小屋トイレはバイオトイレ(10月末~3月は閉鎖)

由布岳登山口は汲み取り式、草原の上は浸透式

屋久島:宮之浦岳の関しては避難小屋には付帯トイレがり、各登山口にはトイレブース、回収ボックスがせっちされている。

新高塚小屋は土壌浸透方式、淀川小屋は汲み取り式

③山中トイレの問題点は？

北海道：黒岳と幌尻さんそうのバイオトイレはバイオ処理性能が発揮できず、苦戦中。大雪国立公園の避難小屋4箇所の小屋本体と共にトイレも老朽化しており、建て替えが課題。

東北：冬場は凍りついて使用不能となる。

大分：くじゅう山ミヤマリンドウ、紅葉の時期は利用者が多くオーバーユースである。由布岳は汚い。

④登山マナーの啓蒙活動は行われているか？行われていれば、どのような方法で実施されているのか

北海道：・2000年より山のトイレデーや山開き等のイベントでマナーガイド、トイレマップ、マナー袋等を登山者に配布。

・山岳ガイドにも文書で協力依頼。

・名刺サイズ型マナーガイド(カード)を作成。個人団体400か所に送付。山頂で登山者に配布してもらうよう協力依頼。

東北：早池峰山では登山口にグリーンボラティアがいて(シーズン中の土、日、祭日を中心)携帯トイレの必要性、使い方、販売を行っている。

大分：特別行っていない。

⑤登山マナーがレベルアップする方策はあるか？

北海道：・各種山岳団体を通じて、所属会員に啓蒙してもらうよう協力依頼。

・未組織登山者へはトイレデーや山開きでの啓蒙、アウトドアショップにマナーガイドを置かせてもらい配布。

・ホームページ、ラジオ、新聞等のメディアを活用。

東北：しっかりした考えのもとに熱意と継続で呼びかける。

大分：登山道にゴミがあれば拾う。捨てる人を見かけたら、注意する





会費未納の方へお願い！

払込書を同封しています。今年度もご協力よろしくお願い致します  
会計より

現在、この会は下記の個人、団体、協賛によって支えられています

<団体会員>

RKAC アイテックシステム(株) あだると山の会 九州高地植物保護協会 九州登山情報センター 田川かたつむり山の会 筑豊山の会 西鉄山友会 日本山岳会福岡支部 日本山岳会北九州支部 福岡県山岳連盟 宝満宮 竈門神社 福岡県勤労者山岳連盟 (株)湊工業 山の自然に学ぶ会

<個人会員>会員数 69 名

個人情報との関係で氏名公表は差し控えました。

<協賛先>

(株)西鉄グリーン土木 太宰府天満宮

ありがとう  
ございます



## 山のトイレマナーと環境にやさしい登山を

- 山に入る前には麓のトイレで用を足しましょう
- 山中では設置のトイレで用を足しましょう
- トイレにゴミは捨てないようにしましょう
- 公衆トイレがない山では携帯トイレを使いましょう
- やむを得ず山中(トイレ以外)で排泄する時は  
穴を掘って埋めるなどの処理をしましょう
- 使用済みのペーパーは必ず持ち帰りましょう
- 花を手折ったり、盗掘はやめましょう
- 登山時のゴミは持ち帰りましょう



### 編集後記

超早い桜開花宣言に春が来たと言っていたが  
英彦山では雪の中の清掃ハイク・・・  
日本列島何だか変!です。  
毎回、誌面作りはパソコンとの戦いです T.T

山のトイレ協議会通信 第10号  
発行日 2013年5月13日  
山のトイレ、環境を考える福岡協議会  
〒818-0115  
太宰府市内山708番地  
九州登山情報センター内  
☎&FAX 092-928-2729